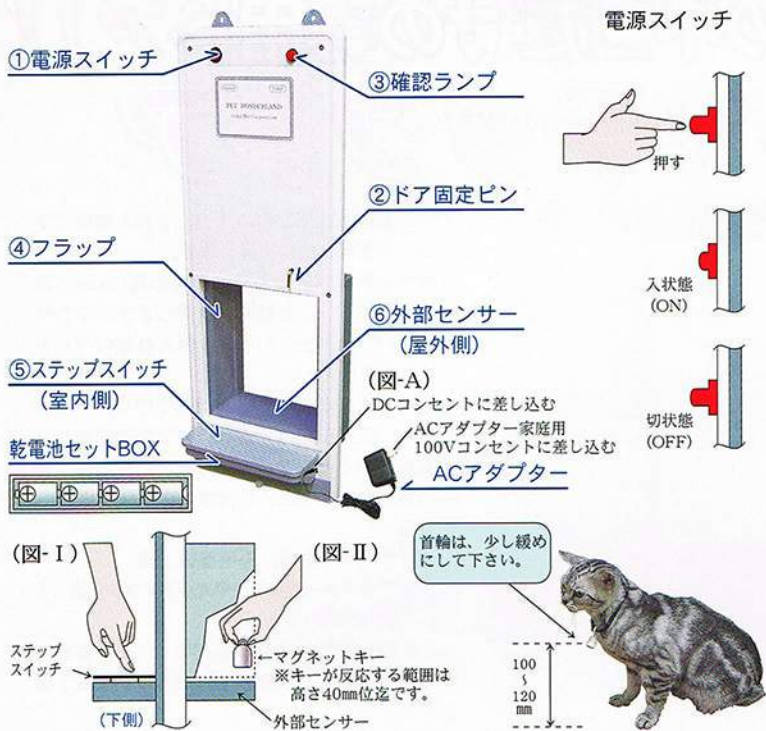


# ペットオートマチックドア 取扱い説明書

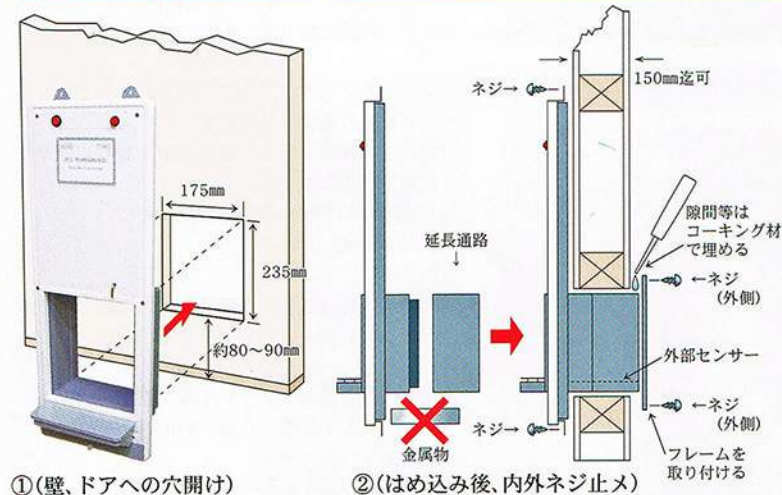


**本体説明** (図-A) ACアダプターを取り付け、下記の手順で動作確認して下さい。

- ①: 電源スイッチを押しONの状態にする。フラップの開閉動作制御が可能の状態となります。再度押し解除され、動作不能となります。
- ②: ドア固定ピン取付設置後、ご使用時には必ず引抜いて下さい。④スライドドア開閉動作を強制的にロックする時に使用します。
- ③: 確認ランプは⑤のステップスイッチ (室内側)、⑥外部センサーの動作反応で点灯します。
- ④: フラップは上下方向にスライド動作します。
- ⑤: ステップスイッチは、ペットの手足で踏押しすることで動作します。(図-I) ステップスイッチを軽く押して下さい。確認ランプが点灯しフラップが自動的に上へ上がり、2~3秒後にドアが下がります。
- ⑥: 外部センサーは、屋外側の動作スイッチでペットの首輪等に取付けたマグネットキーにのみ反応して動作します。(図-II) マグネットキーを図の様に近づけて下さい。フラップが上記と同じ作動をすればセット完了です。入出りを中止する場合は電源スイッチを切ってください。

**注意事項** ■ 本器はACアダプター・バッテリー (乾電池) の兼用が出来ますがACアダプターで、ご使用なされる場合は乾電池は入れないで下さい。停電時等で電池で、ご使用なされる場合は必ずACアダプタを外して下さい。同時使用はトラブルの原因になる恐れがあります。長期不在をなされる場合は電源スイッチを切り、ドア固定ピンを差込んで下さい。

## 壁ドア等に埋め込むフラップタイプ



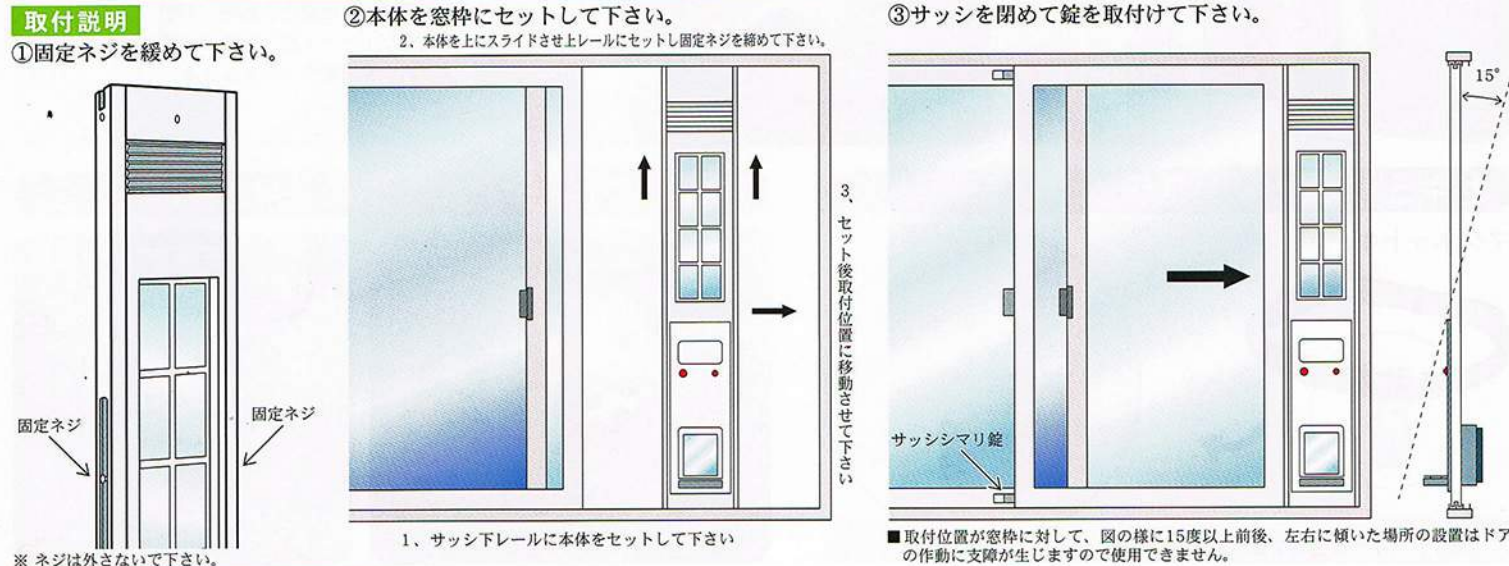
**取付説明** ■ スチールドア等には取付出来ません。

- ① ペットの大きさに合わせ、室内床面から約80~90mm位の位置 (床から猫の胸元までの高さ100~120mm) の処に取付け位置を決め、左記サイズ (h 235mm x w 175mm) の穴を開ける。
- ② 本体を室内側より挿入 (壁、ドア等の厚みが40mm以上の場合は、延長通路を使用する。) し、外側部位にフレームを取付け、内外双方からネジ止めし固定又、その隙間等が生じた場合は、コーキング材等で埋める。

**注意事項** ■ 外部センサー部の真下に金属性の物が有る場合は誤作動を起こす原因になりますのでお避け下さい。

- 出入口に木製踏み台等を手作りされる場合は、鉄釘は避けて、磁気に左右されない素材、ステン釘、ビス等をご使用下さい。
- 設置前に固定ピンを抜取られたら本器を逆さにしないで下さい。巻上げ糸がからみ扉が最後まで下がらなくなる場合があります。

## 工事不要のフリードアタイプ



### 商品責任に対するの注意

★台風・大雨・又は、長期不在をされる場合はフリードアを取り外し、戸締まりをしてください。フリードアを第三者より故意に破壊された場合は保証できません。